

国谷さん クロ現降板

表題と写真は朝日新聞 1 月 8 日朝刊の記事である。「クロ現」とは NHK「クローズアップ現代」のことで、その名キャスター国谷裕子さんが降板になったという。

記事を読んで腹が立ち、すぐにフェイスブックに投稿した。「国谷さんまでが」というのが、率直な気持ちだ。国谷さんは 23 年間も番組を担当されてきた。

国内外の多方面にわたるテーマについて、キャスターとして自分なりに問題を把握され、その幅の広さに前から感心していた。それと辛口コメントを含め、じつに分かりやすく問題を提起されることが多かった。

その「辛口」が安倍政権、とりわけ菅官房長官を怒らせ、「安倍応援団」の NHK 上層部が、国谷さんを降板させたのだろうか。なぜ、いま「国谷さん降板」「内容一新」なのか、マスコミはきちんと伝えてほしい。これこそ「クローズアップ現代」、アベ政治版である。

「クロ現」は、大学の講義でもよく使わせてもらった。最初の国谷さんがテーマを伝えるところ、途中の映像などだ。学生に視覚から短時間に問題を提示するのに、まさに「映像はエイゾー」であった。

とくに記憶に残る番組として、京都の景観とまちづくり、環境問題などがある。これは以前レポートに書いたが、2007 年 11 月 20 日放映で「地方新税」を取り上げたが、講義で森林環境税を説明する際に映像の一部を流した。番組では、神奈川県森林環境税研究会座長の金澤史男・横浜国大教授がコメントしていた。

この講義は 2009 年 6 月の「地方財政論」であったが、その数日後に金澤さんが急逝した。私より 5 歳も若い優秀な財政学者であり、本当に驚き、ショックであった。金澤さんは「クロ現」によく出ていた。当時は羨ましくも感じていた。私も一度でも「クロ現」に出て、国谷さんの前でコメントしたかった。

(2016 年 1 月 9 日)

